

祥泉院 横浜市青葉区みたけ台 32-17

祥泉院は山号を長谷山と言ひ曹洞宗に属し、本山は福井県の永平寺と鶴見の総持寺です。開山は本寺藤沢市遠藤の宝泉寺の二世壁岑東全大和尚で、開基は足利家の家臣であった村田太郎左衛門祥本で、ご本尊は阿弥陀如来。

参道を入ると、右に獅子阿(撫でると運が来る)、左に獅子吽(撫でると心静か)がいて、観音堂の左に大黒天があるお堂があり、風神・雷神がいた。

観音堂は彫刻が立派な壁面で、四隅には白虎、玄武、青龍、鳳凰の彫刻があった。

今の時節、手水舎と鈴ひもは触れられないようにしてあった。



参道



右に獅子阿、左に獅子吽



大黒天のお堂には風神、雷神の彫刻がある



観音堂本殿の彫刻が素晴らしい  
鈴の紐に触れないように上げてある